



＼令和8年度／ 土木職員紹介



静岡県

富士土木事務所からの眺め

※インブラミンゴ
インフラについて興味津々で
常に、首が「？」マーク。
驚くと首が「！」マークになぞ。



もくじ

- P.1 はじめに
- P.2 公共事業における県の役割
- P.3 交通基盤部の紹介
- P.5 働く場所
- P.6 業務内容
- P.8 先輩職員の声
- P.10 人材育成（技術職員研修）
- P.11 土木職員が携わる主要な事業
- P.20 情報発信

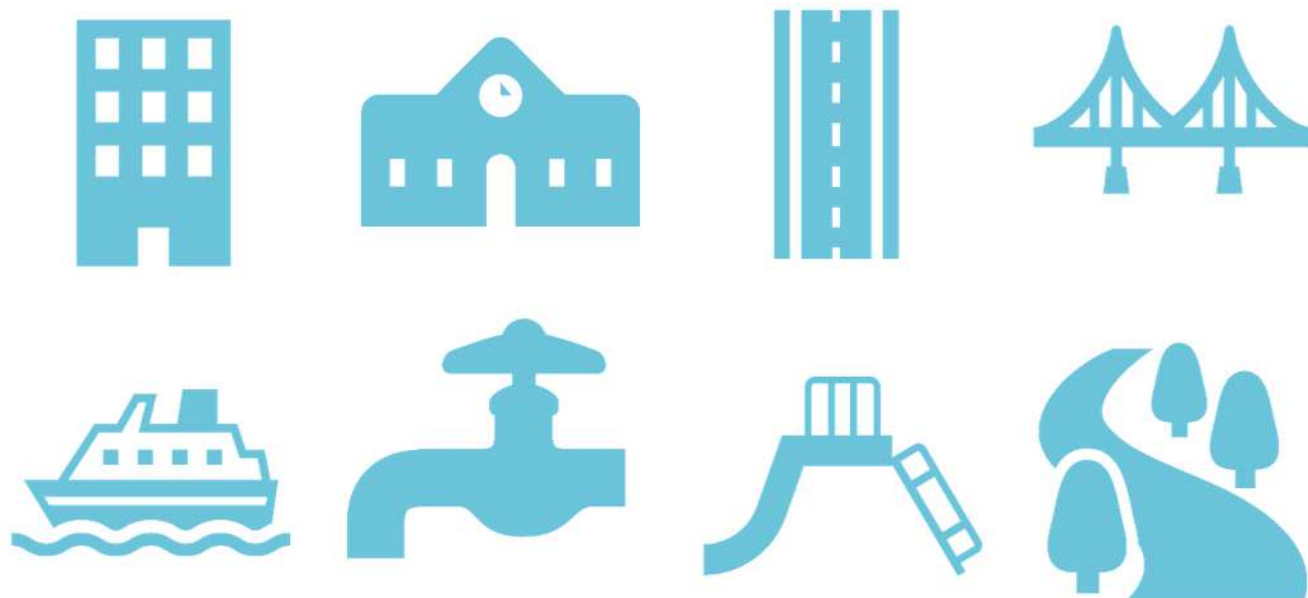
はじめに

静岡県土木職を目指すみなさんへ

静岡県は、日本一高い富士山と日本一深い駿河湾を持ち、多様な自然や地域があります。その豊かな自然と地域の生活を守り、未来へつなげていくのが、県の土木職の役割です。

土木の仕事は、単に構造物をつくることではありません。地域の声を聴き、未来のまちの姿を考え、人々の暮らしを支える基盤をつくる仕事です。難しいことに感じるかもしれませんが、研修制度やチューター制度（P. 10）などが充実しており、入庁してから安心して学び、働くことができます。

「静岡で仕事がしたい」「地元の暮らしを守りたい」「大きな仕事に挑戦したい」「地域に貢献したい」そんな想いを持つみなさんを、お待ちしております。



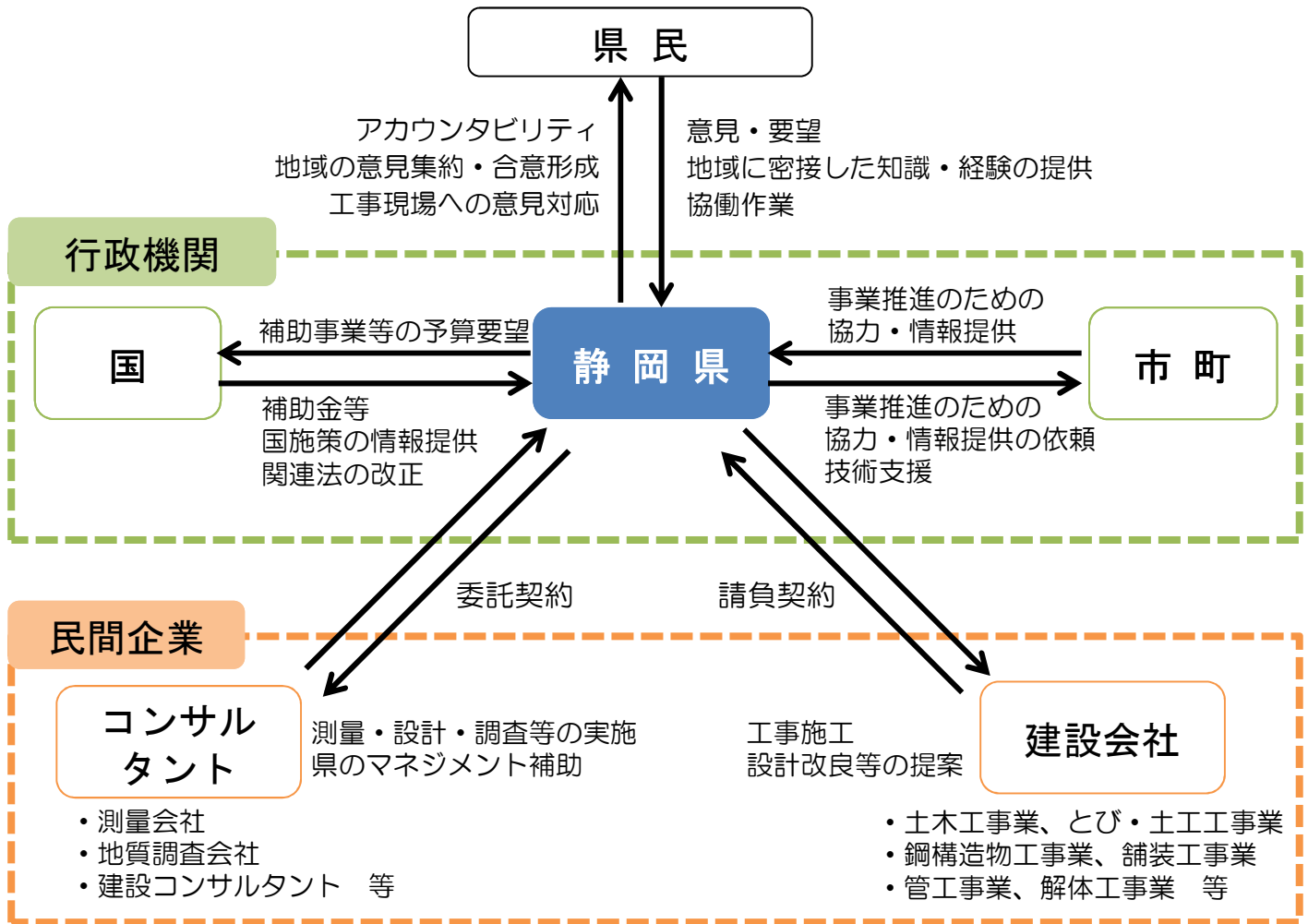
インフラと静岡の
未来について
いっしょに考えて
みませんか？

INFRASTRUCTURE
OF SHIZUOKA



公共事業における県の役割

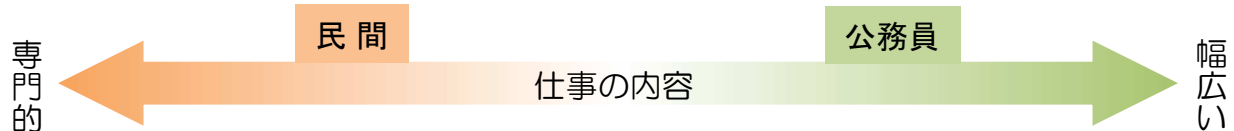
県では、県民からの意見や地域の課題に対し、国や市町、民間企業と協力して社会インフラの整備を実施しています。



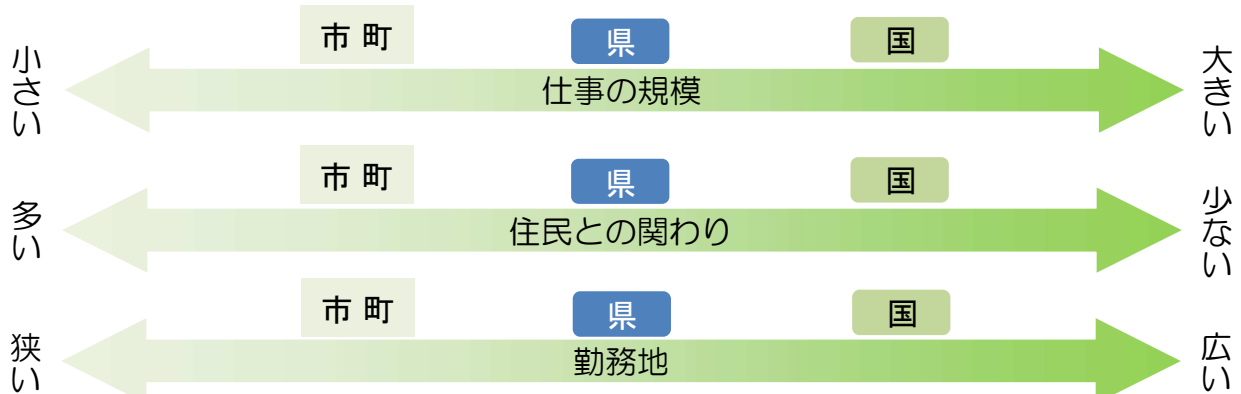
(注) この図はイメージであり、当てはまらない場合もあります。

民間、国、市町との比較

—— 民間と公務員の違いは？ ※ 長期的・大規模な仕事から、住民密着の仕事もあり幅広い経験ができます。



—— 国、市町との違いは？



交通基盤部の紹介

土木職員の仕事

土木職員の仕事は、道路、まちづくり、治水など様々な分野の社会インフラ整備です。

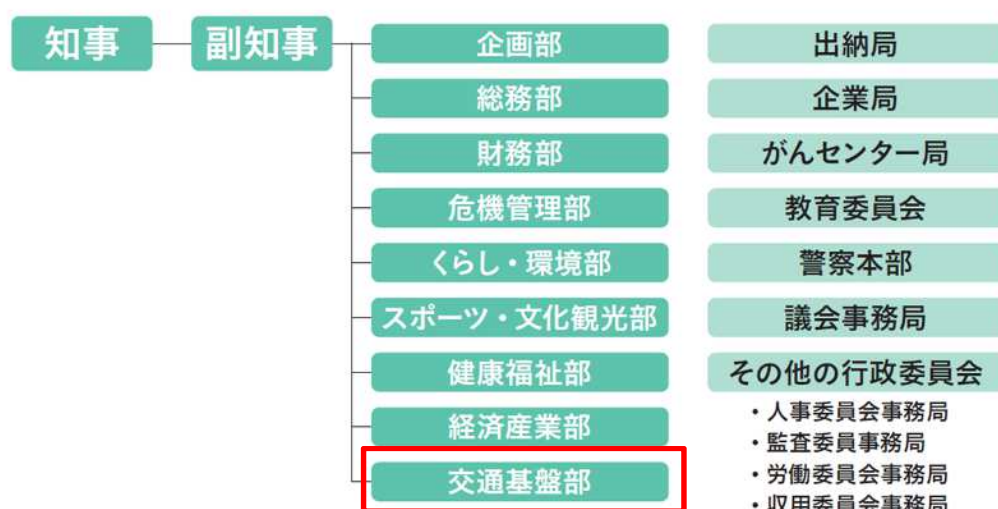
これらの社会インフラは、県民の毎日の暮らしの中で利用されるとともに、地震・津波・豪雨等による災害から人命・財産を守るなど、非常に重要な役割を担っています。

県民の暮らしを守り、安心して生活できる地域をつくるため、計画・設計・工事・維持管理まで幅広い業務に携わります。

現在、静岡県では700名以上の土木職員が**交通基盤部**を中心に働いています。



県組織図



交通基盤部の基本理念

土木職員の多くが所属する交通基盤部では、社会インフラ整備を県民の視点に立ち、いっしょに進めていくことが重要であるとの思いから、基本理念を定め、取り組んでいます。



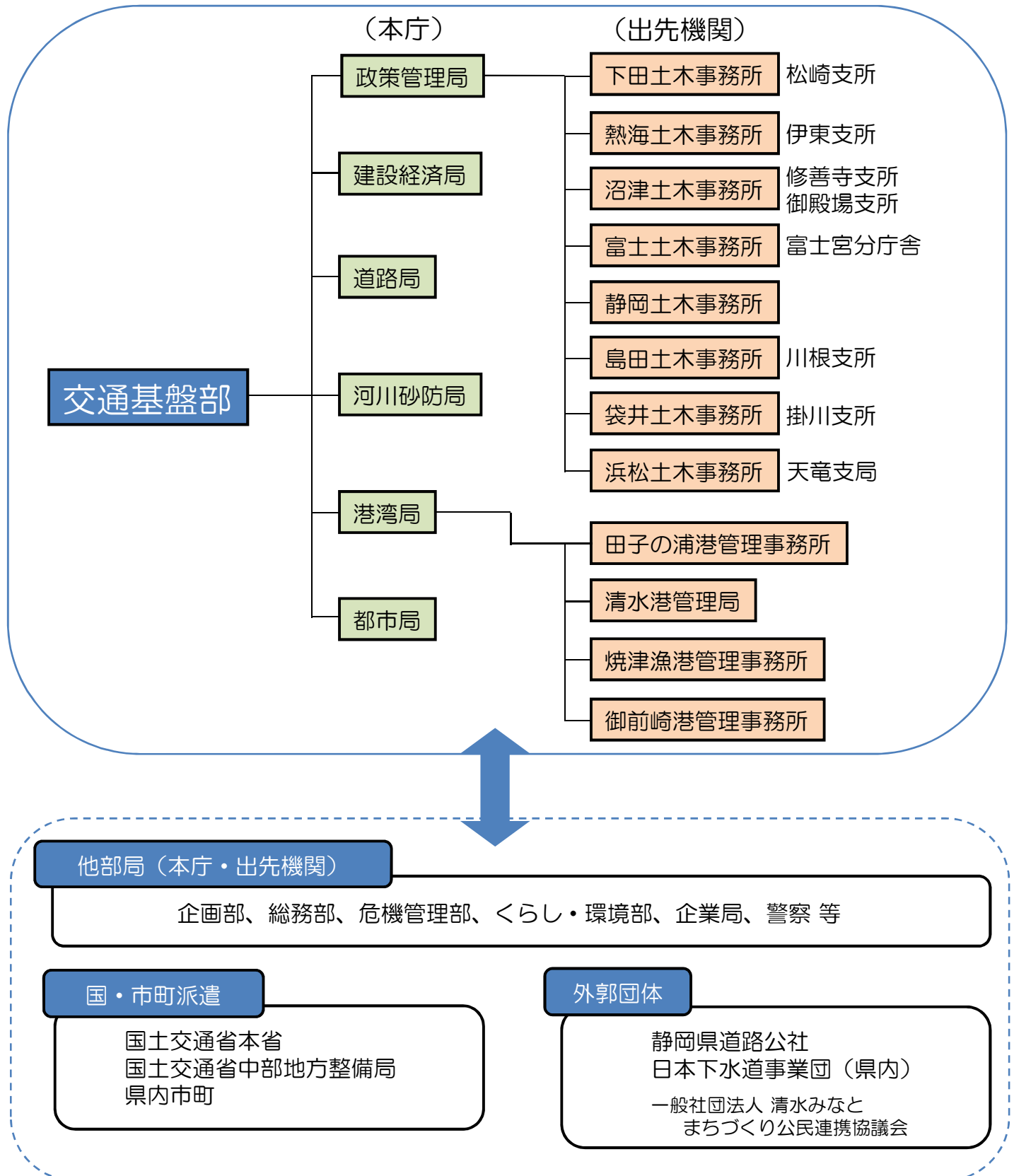
いっしょに、未来の地域づくり。

静岡県交通基盤部

交通基盤部の紹介

交通基盤部は、以下のように組織されています。

土木職員は、本庁または出先機関に配属され、主査級までは、3年を目途に異動しています。一定程度の経験を得たのち、交通基盤部以外に配属されることもあります。



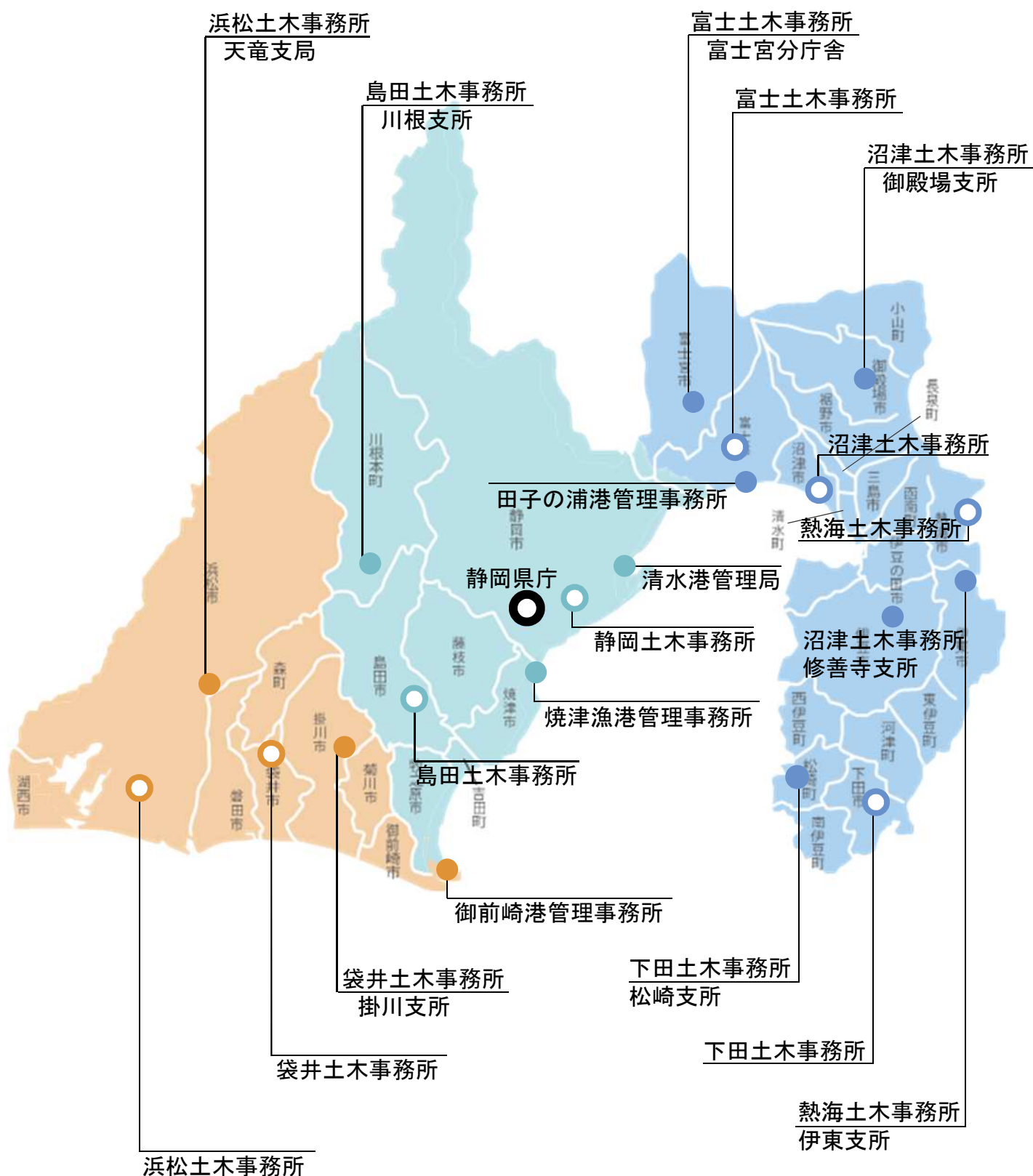
働く場所

土木職員の働く場所は、基本的にＪＲ東海道本線沿いにあり、一定の条件を満たせば新幹線通勤も認められます。静岡県は東西に長い県ですが、比較的通勤しやすい環境にあります。

西部地区

中部地区

東部地区



業務内容

本庁の業務内容

本庁（道路局、河川砂防局など）では、県の公共事業における県全体の予算管理や計画調整を行います。

事業が効率よく速やかに効果を発揮できるように、県の財務部や、国の担当省庁、市町及び関係団体と調整します。

政策管理局や建設経済局は、広報、技術支援、検査などを担当し、出先機関の業務が円滑に行われるための環境づくりを行っています。

政策管理局	：政策調整、広報
建設経済局	：技術支援、新技術、検査
道路局	：道路、橋梁、トンネル
河川砂防局	：河川、海岸、砂防 災害復旧
港湾局	：港湾、漁港
都市局	：都市計画、景観 街路、公園、地域交通、 下水道

<道路・河川砂防・港湾・都市>

<政策管理局・建設経済局>

地域課題
地元要望



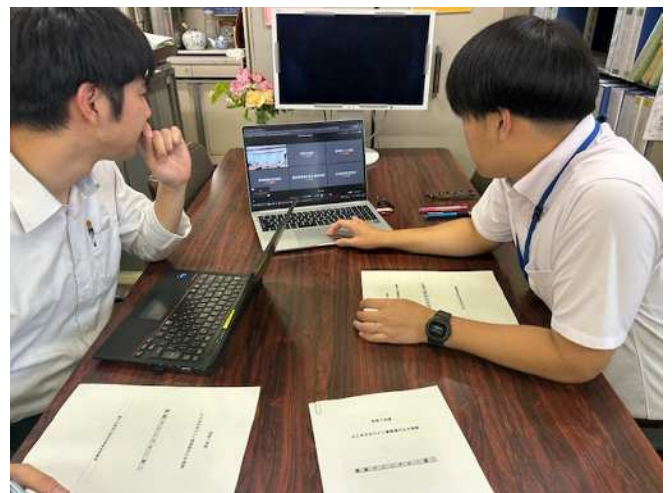
計画作成
予算調整



広報
技術支援
検査



静岡県庁の外観



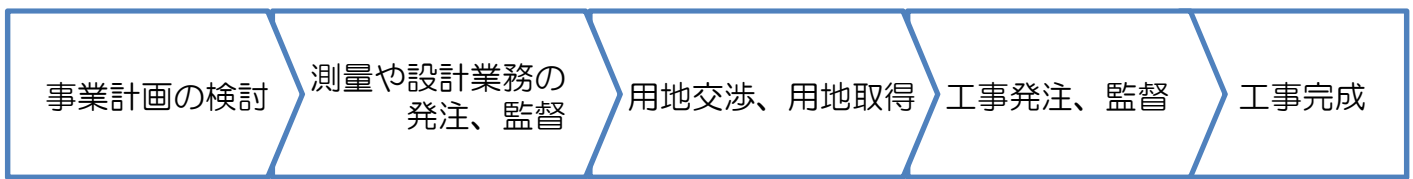
庁内の様子

出先機関の業務内容

出先機関では、主に、管轄地域における道路、河川、港湾などの社会インフラの建設、維持・管理、災害復旧、地域住民への説明や情報提供を行っています。（詳細は次ページ）

業務内容

出先機関の業務内容



①事業計画の検討

- ・地元や市町からの要望、災害や事故の履歴、現地の調査などを行い、事業の必要性を確認します。
- ・実施する事業の内容、期間、費用などの検討を行います。

②監 督

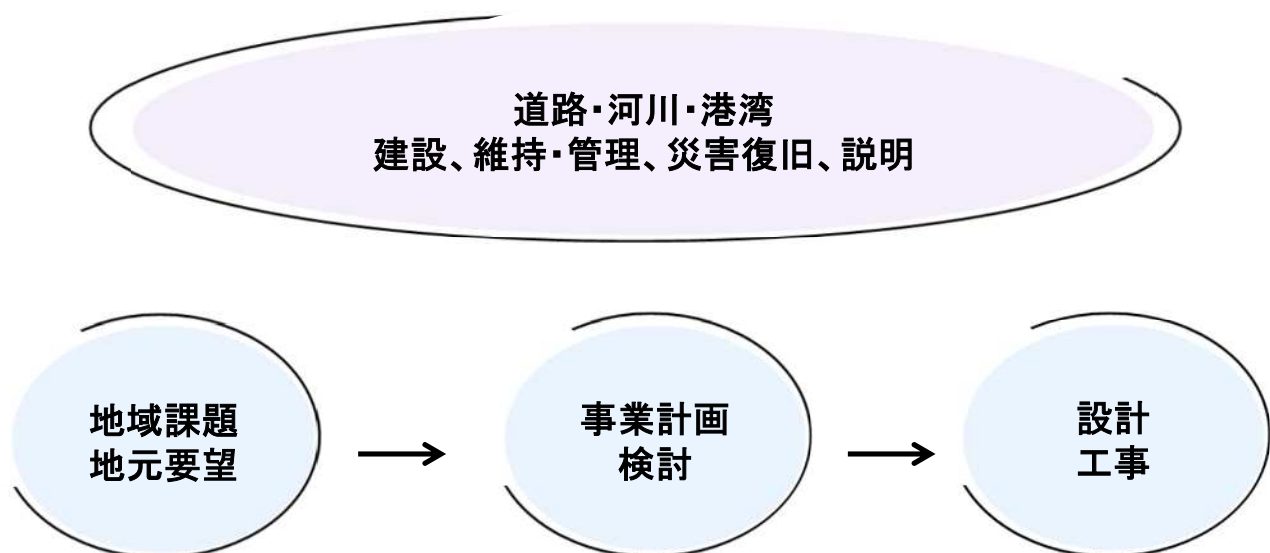
- ・現地の測量、構造物の設計、工事施工などは、入札により県から民間企業に発注します。
- ・民間企業が行う測量、設計、工事などの執行状況の確認、把握等を行い、契約の適正な履行を確保する業務（監督）を行います。



現場での打合せ

③地域住民への説明や情報提供

- ・事業を進めるにあたり、用地提供や工事の影響などがあることから、地域住民の理解、協力が必要となります。
- ・事業の計画段階から様々な場面で住民説明会、SNSを活用した情報発信などを実施します。
(各事務所SNSはP.21)



先輩職員の声

所 属 交通基盤部 道路局 道路保全課
(R7.12時点) 技師 木村 駿 (令和4年度採用)



詳しくはコチラ↑

現在の仕事

道路保全課の維持舗装班で、県内の道路の維持管理業務を行っています。道路情報提供やICTの活用、防草対策に関する業務を担当しています。

静岡県職員（土木）を目指したきっかけ

同じく県土木職である父の影響で昔から土木に興味があり、大学で一度静岡を出ましたが、生まれ育った静岡で就職したいと、静岡県の土木職を目指しました。

手掛けた工作物が目に見える形で確認できるところに魅力を感じました。

入庁する前に不安だったことと、その解消について

大学の専攻が土木ではなかったもので、ついていけるか不安だったのですが、先輩方が優しく、些細なことも相談でき、自然と不安はなくなりました。

未来の後輩に向けてひとこと

勉強・バイト・遊び、全てを楽しめるのは学生の時だけです。社会人になると自由な時間に限りがあります。悔いのない学生生活を送って、社会人として頑張ってください！

今を全力で楽しんでください！



▲パパっ子になってもらうことを目指し、育休取得中

所 属 交通基盤部 都市局 公園緑地課
(R7.12時点) 技師 武村 有紗 (令和7年度採用)



詳しくはコチラ↑

現在の仕事

市町国庫補助事業で市町事業の国費の執行管理、市町が事業を行うための認可審査、国土交通省などからくる都市公園に関する調査・報告、公園緑地課の事業の広報など、いろいろな業務を担当しています。

静岡県職員（土木）を目指したきっかけ

静岡県民の生活に密接しているインフラ整備に関わり、県民の生活を身近で支えたいと思い、静岡県土木職を目指しました。

印象に残っていること

土木職員が受ける採用1年目研修で同期と一緒に雨の中、コンクリート打設を行ったことが、土木関係を履修してこなかった身としては初めての経験だったので、印象に残っています。

未来の後輩に向けてひとこと

もちろん勉強も大切ですが…学生のうちにたくさん遊んでください！

静岡県のために一緒に働ける日を楽しみにしています。



▲休日は大好きなエスパルスの応援

先輩職員の声

所 属 交通基盤部 河川砂防局 土木防災課
(R7.12時点) 技師 藤武 凌也 (令和5年度採用)



詳しくはコチラ↑

現在の仕事

災害を防ぐためのソフト対策に取り組んでいます。県民のみなさんに、水位や雨量、気象情報等の避難に資する情報を「サイボスレーダー」で提供するために、河川監視カメラの設置や観測機器の維持管理を行っています。

これまで仕事をしてきた中で、うれしかったこと

小学生を対象に開催している県庁見学です。水災害の危険性や職員の仕事内容を紹介しています。災害の写真を見て、声を出して驚いている様子や、一生懸命話を聞いてくれる姿を見ると説明していて嬉しいです。最近では、人生で初めてサインを求められました！

入庁する前に不安だったことと、その解消について

入庁するまで具体的に何の仕事を行うかわからなかったことです。実際に、どんな仕事をするか想像できず不安でした。

しかし、入庁した際には、先輩方が優しく教えてくださり、徐々に仕事を覚えることが出来ました。

未来の後輩に向けてひとこと

土木職員は、大学で土木を学んでいない方も多くいます。私は、毎日勉強しながら業務を行っています。研修制度も充実しており、誰でも土木職員を目指せることがいいところです。静岡県土木職は、元気な方が多く楽しく業務に取り組んでいます。



▲県庁見学で小学生に仕事内容を紹介

所 属 交通基盤部 富士土木事務所
(R7.12時点) 技師 高橋 陽 (令和6年度採用)



詳しくはコチラ↑

現在の仕事

富士宮市内の道路工事や河川工事の発注業務・監督業務を担当しています。富士宮市が生活しやすい場所になるようにと考えながら日々仕事をしています。

静岡県職員（土木）を目指したきっかけ

富士川に新しく架かった「富士川かりがね橋」ができるまでの過程を高校の登下校時に見てきました。その時私は、「自分もこのような大きな構造物を造る仕事に携わって、生まれ育った静岡県に貢献したい。」と思い静岡県の職員を目指しました。

これまで仕事をしてきた中で、印象に残っていること

富士山の登山道パトロールです。富士山の富士宮口は富士土木事務所が管理しており、登山シーズン中の安全を確保するため、頂上まで登ってパトロールをしてきました。いつか登ってみたいと思っていたのと、このような仕事も土木事務所の仕事と知りとても印象に残っています。

未来の後輩に向けてひとこと

土木は、人々の生活にとっても直結している職業なので、やりがいのある魅力的な職業だと思います。また、優しく何でも教えてくれる先輩方がたくさんいるので、安心して採用試験を受けてほしいです。



▲お昼休みは職場の仲間とサッカー

人材育成（技術職員研修）

土木職員は、全職員が受ける研修にプラスして、土木職独自の研修を設けています。各職場での研修（OJT）やセンター研修（Off-JT）を通じ、業務遂行に必要な力に加え、コミュニケーションやマネジメント能力等を効果的・効率的に習得できるようにしています。

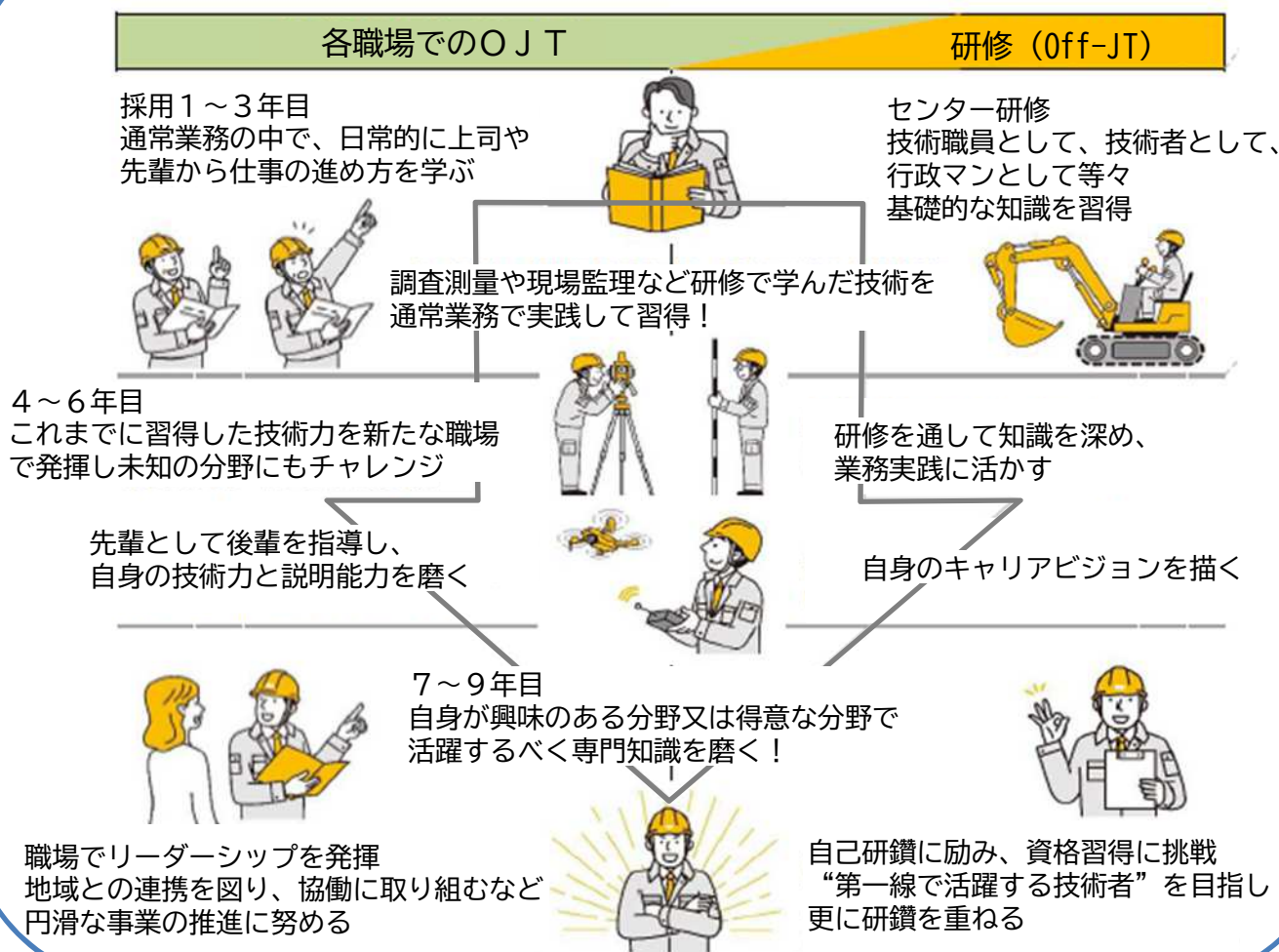
採用年度や職位に応じた基本スキルを始め、道路や河川などの専門スキル、ICT技術などの共通スキルを習得する研修など、様々な研修を階層別に実施しています。



技術職員として求められる役割

- 1～3年目「業務の基礎を理解しつつ、上司や同僚からのサポートを得た業務の実施」
- 4～6年目「業務の基礎を十分理解し自ら率先した業務の実施」
- 7～9年目「班における役割を認識し班の状況に即した判断と行動」
- 10～14年目「事業効果を最大化するための判断と行動、班長の的確なサポート」
- 15年目以降「班・課内の状況を把握し、様々な要素を考慮したリーダーとしての判断と行動」

“個の技術力を高め、組織の成長につなげる人材育成”のイメージ
「OJT」と「Off-JT」を融合したグランドデザイン



チューター制度

土木職員にもチューター制度があり、身近な先輩が「チューター」として業務をサポートします。

土木職員が携わる主要な事業

道路事業

[管理施設(R7.4時点)]

- 243路線(2,776km)
- 3,243橋梁
- 151トンネル

地域の発展や交流を促進する道路ネットワークの整備

地域間交流や物流を促進し、地域を豊かにする道路ネットワークの整備を実施しています。

道路ネットワークの整備



新たな橋梁の整備



交通事故を未然に防止する交通安全対策

歩行者や自転車等の道路利用者が安全に通行するため交通安全対策を実施しています。

安全な道路空間の確保



自然災害から地域を守る道路の強靱化

大雨等の自然災害から地域の暮らしや産業等を守るため道路防災対策を実施しています。

道路法面の保護



安全・安心な通行を確保する道路の長寿命化

橋梁、トンネル、舗装等の道路施設を適正に管理し、持続可能な道路環境を構築しています。

新技術を活用した生産性の向上

新たな技術(DX等)を積極的に活用し、効率的・効果的に業務に取り組んでいます。



治水事業

県民生活の安全・安心と県土を守る

台風、大雨等による浸水被害が県内各地で発生しています。これらの被害を未然に防ぐため、河川の拡幅や放水路、遊水地などの整備や、環境に配慮した水辺づくり等を行うとともに、河川の適正な管理と秩序ある利用の促進をしています。



沼川新放水路〔整備中〕（沼津市）



太田川ダム（森町）

〔管理施設（R7. 4. 1時点）〕

- 一級河川 6 水系 261 河川 1, 374km
- 二級河川 83 水系 259 河川 1, 203km
- 水管理・国土保全局 海岸 132. 9km

土砂災害対策事業

地域の皆さんの生命、財産を守る

県内では毎年約50件の土砂災害が発生しています。これらの被害を未然に防ぐため、砂防堰堤や、急傾斜地崩壊防止施設、地すべり防止施設などを整備するハード対策と土砂災害警戒区域等の指定や市町の警戒避難体制の整備を促進する等のソフト対策を進めています。



砂防堰堤（賀茂郡西伊豆町）



〔土砂災害警戒区域数（R7. 3. 31時点）〕

- 土石流 5, 028 箇所
- 地すべり 347 箇所
- 急傾斜地 12, 866 箇所
- 合計 18, 241 箇所

地震による津波対策（海岸事業等）

静岡県では、「地震・津波対策アクションプログラム2023」を策定し、10年間に実施する具体的な対策と数値目標・達成時期を定め、想定される被害をできる限り軽減する「減災」と「被災後生活の健全化」を目指しています。[減災目標：令和7年度までの3年間で想定犠牲者の9割減災を達成し、その後も9割以上の減災を維持]

その中で、重点施策の公助の取組として「ハード整備の着実な推進」を位置付け、津波対策に取り組んでいます。

<静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023（R5.3策定）>

基本理念

減災

- ◆ 地震・津波から着実に命を守る
- ◆ 被災後も命と健康を守り、生活再建に繋げる
- ◆ 地域を迅速に復旧し、復興へ繋げる

被災後生活の健全化

事業期間

10年間 令和5～14年度

全体事業費

約3,100億円

津波を防ぐ施設は、想定犠牲者の大半を占める津波から県民の命を守る上で非常に重要であるとともに、浸水想定区域内の資産の保全に大きく寄与することから、レベル1の津波を防ぐ高さの確保と質的な強化を引き続き推進します。

●堤防の整備



相良須々木海岸（牧之原市）

●水門の整備



馬込川水門〔整備中〕（浜松市）

津波からの避難については、津波到達時間内に安全に避難できるよう、津波避難タワーや命山の設置、津波避難ビルの指定、避難路の整備等の支援により、全ての県民が自らの命を守ることができる環境の整備に努めます。

●津波避難施設の設置



津波避難複合施設「テラッセ オレンジ トイ」（伊豆市）

●津波災害警戒区域の指定

最大クラスの津波により浸水が想定される沿岸域で警戒避難体制の整備を行う「津波災害警戒区域」の指定を、地域の特性や市町の意向を尊重して、丁寧に進めています。



災害復旧事業

被災した土木施設の早期復旧

豪雨や地震等により被災した道路や河川護岸等の公共土木施設を、地域の暮らしや産業等を守るために、1日も早い復旧に努めています。



(二) 興津川 公共土木施設災害復旧事業 (静岡市清水区大平)

港湾事業

豊かな暮らしを支える港湾の整備(物流・産業)

港湾は、世界とつながり、暮らしを支える物流の拠点となっています。迅速かつ効率的で、安全な物流環境を構築するため、防波堤や岸壁、道路、航路(浚渫)の他、荷役する機械や津波救命艇など、港湾に関する様々な施設を整備しています。



国際拠点港湾 清水港

[管理施設(R7.3.31時点)]

- 国際拠点港湾 清水港
- 重要港湾 田子の浦港、御前崎港
- 地方港湾 11港湾
- 港湾局海岸83.2km



海外と定期航路でつなぐ新興津コンテナミナル

豊かな暮らしを支える港湾の整備(交流・生活・環境)

港湾は、豊かな水辺空間を有しており、交流・賑わいの拠点となっています。人々が海辺を散歩しながら集い、優れた景観を堪能できる水辺空間を創出します。また、クルーズ船や大型のプレジャーボートなどの受入れ環境を整備し、観光を核とした地域の活性化も図ります。



清水マリンパーク(日の出地区港湾緑地)の眺望



清水港に寄港するクルーズ船



クルーズ船寄港時の岸壁のにぎわい

漁港事業

水産物の効率的な供給を支える漁港の整備

水産業の振興及び水産物の安全で効率的な供給を支え、快適な海岸環境を創造するため、防波堤や岸壁、道路、航路(浚渫)の他、緑地なども整備しています。



全国トップクラスの陸揚を誇る焼津漁港

[管理施設(R7.3.31時点)]

- 8漁港
- 水産庁海岸39.2km



カツオの水揚げの様子



整備した大水深岸壁(焼津外港-9.0m西岸壁)



焼津漁港 アクリル板を使用した津波胸壁

集約連携型都市づくりの推進

人口減少社会に対応した持続可能なまちの形成

「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めています。

- 家の近くに、病院や役所、お店があると便利だね。住むのも駅の近くが暮らしやすいよ。
- 歩いて暮らせるまち、歩道や自転車道が整備されて暮らしやすいまちが理想だね。
- 鉄道やバスがないと、車を運転できない人は買い物もできなくなっちゃう！



美しい景観の創造

多彩で美しい景観を「守り・育て・創る」

富士山や駿河湾などの自然景観や各地域の歴史・文化を背景とした町並など、美しい景観形成に取り組んでいます。

【屋外広告物の是正指導】



【景観学習】



【景観形成の広報・啓発】



【静岡県景観賞 顕彰】



都市公園事業

人々が集う緑の空間やレクリエーションの場を創出

憩いや運動、レクリエーションなどの拠点となる
県営都市公園の整備や維持管理を行っています。



浜名湖ガーデンパーク



富士山こどもの国

市街地開発事業

快適で安全なまちづくりの推進

土地区画整理事業や市街地再開発事業等による良好な市街地の形成を支援しています。



「浜名湖西岸地区（湖西市）」
（土地区画整理事業）



街路・鉄道高架事業

都市における人や物の円滑な移動を確保

円滑な交通と安全で快適な自転車・歩行者空間を確保するための整備を進めています。



「都市計画道路 沼津南一色線（完成イメージ）」
（沼津駅付近鉄道高架事業）

生活排水処理事業

生活排水を処理し、良好な生活環境を確保

下水道は息の長い事業ですが、整備や普及促進により着実に水質の維持・改善を進めています。



「狩野川西部浄化センター」（流域下水道事業）

水道事業・工業用水道事業

県民への生活用水の供給

水道事業では、関係市町へ良質な生活用水を安定的に供給しています。

県内企業への工業用水の供給

工業用水道事業では、多量の水を使用する県下工業地域の企業等へ、低廉な工業用水を安定的に供給しています。



ふじさん工業用水道 厚原浄水場



耐震化が完了した貯水施設

地域振興整備事業

産業基盤である企業の事業用地の整備

静岡県で多くの人が働けるように、市町と一緒に産業用地を造成しています。

「牧之原萩間工業用地」（牧之原市） →
（事業面積概ね47ハクトール、R7.12）



公共事業のサポート

社会インフラ整備がより円滑に進むように、新技術・新工法の募集のほか、適正な入札制度や品質の良い土木施設ができるような取組をしています。

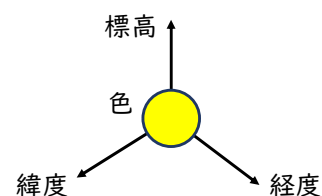
近未来の土木の仕事（イメージ）→



VIRTUAL SHIZUOKA



構成するデータ



県全体を5千億点以上で構成

県内の取得状況



- VIRTUAL SHIZUOKA は、県土全体をレーザスキャナ等で広範囲に測量して「3次元点群データ」を取得・蓄積し、データをオープン化する取組。
- 簡単に言えば、県土を“まるごとアーカイブ化”するプロジェクト。このデータは、『デジタルツイン時代』における新たな社会インフラの基盤として、また社会の課題解決の処方箋として、インフラの維持管理、防災対策、観光や自動運転、エンタメなど様々な場面や分野で使われています。

詳しい活用事例はHPで

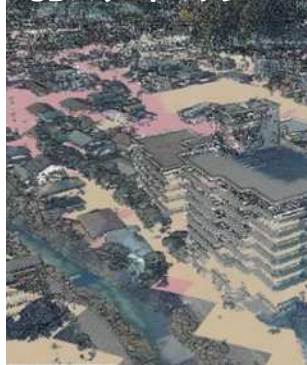


VIRTUAL SHIZUOKA データは様々な分野で活用

インフラの維持管理



3Dハザードマップ



文化財の保存



自動運転の走行地図



戦略的PR

社会インフラが、広く県民に理解・信頼され、円滑に公共事業を推進できるようにするとともに、建設産業全体の発展を図るため、産学官連携により「静岡どぼくらぶ」※の取組を拡大し、戦略的なPRを推進しています。

※「静岡どぼくらぶ」って何？

詳しくはコチラ→



土木の将来、静岡県の未来をともに考え、
土木の現場でつながる広いサークル(仲間)です。

●「静岡どぼくらぶ」講座

建設産業への理解促進・将来の担い手確保に向けて、県内の小中学生、高校生などを対象に現場見学や出前講座、実学講座によるキャリア教育を実施しています。

学校や見学先の現場関係者と協議・相談して、充実した講座にできるよう毎回全力開催です！



現場見学会の様子



出前講座

●「わたしの“未来のまち”はこんな“まち”」図画コンクール

明日を担う子供たちに郷土(静岡)への愛着を持ってもらえるように、夢のある“まち”を描く、図画コンクールを毎年開催しています。2025年は小中学生から270点もの応募がありました。



←小学生の部 最優秀賞(2025)



↑中学生の部 最優秀賞(2025)

↓表彰式の様子



↓公式HP



●静岡どぼカード

身近なインフラ施設を知り、訪れてもらえるようダイナミックなインフラを紹介するカードを発行しています。これまで作られたカードは80種類以上！
県営公園など関連施設で配布しているものもあります。

集めたい！



裏



表



●イベント出展

建設産業や県の事業について知ってもらえるよう、県内各地で開催されるイベントにブース出展しています。出展内容はパネル展示やインフラに関するクイズなど様々です。



下田港でのイベント

幅広い
年齢層に
PR！



●「静岡どぼくらぶ」YouTube動画配信

建設産業のPRや事業紹介等に関わる動画をYouTubeに投稿しています。投稿動画の中には、職員が自ら企画し、撮影・制作したものもあります！

↓ 投稿された動画の一部



今年度初の試みとして、県教育委員会と協力し、しずおかバーチャルスクール向けの教材動画も制作しました！バーチャルスクールで実施した授業は、とても好評で現在第2弾に向けて準備中です。

↓ 静岡どぼくらぶ×バーチャルスクール



●「静岡県交通基盤部」Instagram

静岡県土木の取組や採用情報を投稿しています。特に現場見学会の様子はとても好評です！

↓『あなたの推し現場は？』

Instagramのいいね♡で投票してもらいました！

1

第1位

相良須々木海岸
管轄：島田土木事務所

♡第4次地震被害想定に基づいた整備
♡近接する国道150号に配慮した設計
♡令和12年度完成に向けて絶賛施工中



2

第2位

吉田大東線
管轄：島田土木事務所

♡異常気象時の幹線道路としての機能
♡建設発生土の有効活用
♡渋滞解消対策



3

第3位

清水港
管轄：清水港管理局

♡世界につながる港
♡ビジネス・観光などに利用できる港
♡巡視船に乗って清水港を知れた



●「静岡どぼくらぶアンバサダー」誕生！

メディア・SNS広報を展開し、若い世代へ建設産業の魅力を広く発信するとともに、公共事業への理解促進を図るために、「静岡どぼくらぶアンバサダー」を設けました。アンバサダーになってくれたのは、アイドルグループ「僕が見たかった青空」のメンバーである、**西森杏弥さん**と**萩原心花さん**です。西森さんは学生時代に土木を学ばれ、萩原さんは静岡県出身。静岡どぼくらぶにぴったりのお二人です。これからよろしくお願いします！

お二人が出演する、土木の魅力発信動画「僕が見たかった土木の現場」が公開中です！



過去5年土木職試験実施状況

< 大学卒業程度 >

年度	採用 予定数	1次試験 受験者 (a)	1次試験 合格者	最終 合格者 (b)	最終 倍率 (a)/(b)
R3	16	26	19	15	1.7
R4	18	32	28	20	1.6
R5早期	5	49	25	20	2.5
R5	19	14	13	9	1.6
R6早期	6	21	19	19	1.1
R6	30	12	9	8	1.5
R6定期外	10	4	3	2	2.0
R7早期	10	27	26	22	1.2
R7	25	6	6	4	1.5
R7秋季	3	7	5	4	1.8

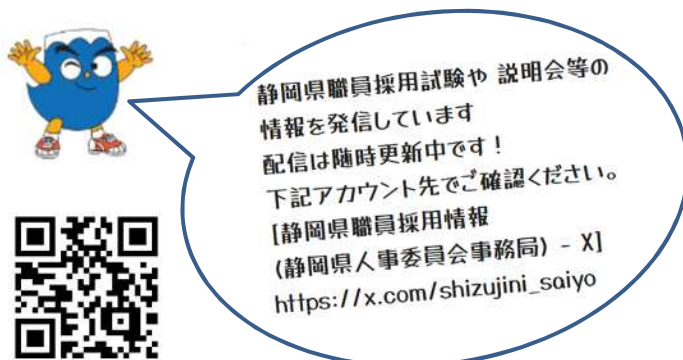
< 高等学校卒業程度 >

年度	採用 予定数	1次試験 受験者 (a)	1次試験 合格者	最終 合格者 (b)	最終 倍率 (a)/(b)
R3	3	7	4	4	1.8
R4	3	8	7	5	1.6
R5	3	8	8	6	1.3
R6	3	5	4	2	2.5
R7	3	4	4	3	1.3

静岡県職員採用総合案内

静岡県職員採用試験の全般的な情報は、こちらをご覧ください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/saiyoinfo/employ/index.html>



関連パンフレット

採用案内のほか、静岡県土木の事業・取組の紹介や目指している姿がまとまっているパンフレット等をHPで公開しています。



技術職PR動画



ダイジェスト編



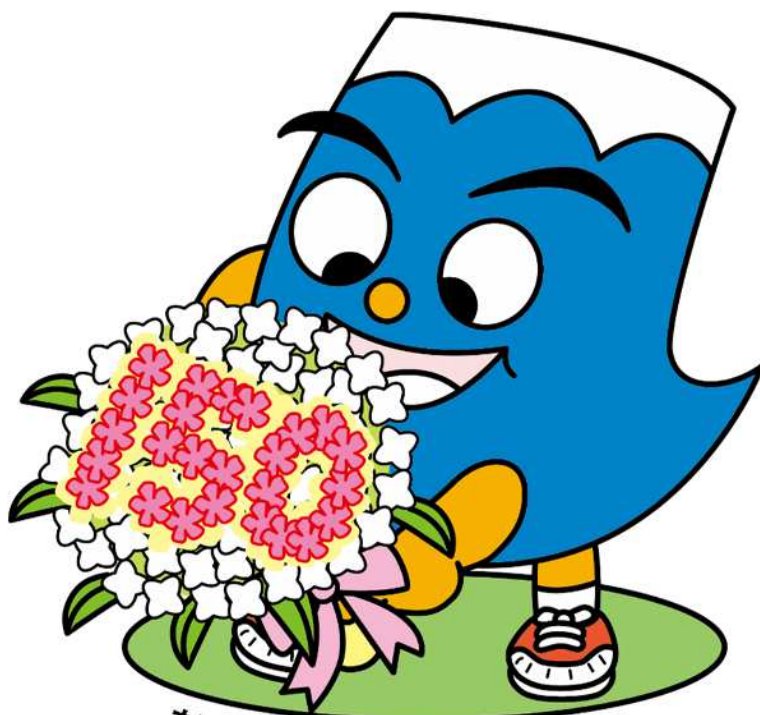
土木職編



静岡県交通基盤部 SNSで情報発信中！

ぜひフォローしてね





静岡県誕生150周年



静岡県 交通基盤部 政策管理局

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

電話番号 054-221-3190

E-mail kensei@pref.shizuoka.lg.jp

